

# ばい さ おう 売茶翁の生涯

ノーマン・ワデル(大谷大学名誉教授)著 樋口章信 訳

▶ A5判・256頁／定価：本体 3,500円 (税別) ISBN978-4-7842-1845-5

2016年7月刊行

## 目次

プロローグ 売茶翁との出会い／売茶翁の伝記資料／売茶翁の生涯の時期区分

### 第一章 肥前時代

誕生／肥前の風土と環境／黄檗僧として得度／化霖道龍と独湛性瑩／高山寺に惹かれる／仙台での修行／律学を学ぶ／師に随行／大潮元皓／龍津寺に居す／自誠的な人柄

### 第二章 京都へ

売茶翁が注目される理由／京の都／消息不詳の十数年間／藩主の弟への手紙／各宗の指導者たちとの交流／幻庵／萬福寺の内情に通じる

### 第三章 東山で茶を売る

通仙亭／『対客言志』／京の文人たちが見た売茶翁／江戸時代の茶の種類／売茶翁の茶の背景にあるもの／日本人が生産した煎茶／越溪茶／京の文人たちとの交流／売茶翁の茶の精神／売茶翁の漢詩／景勝地での茶の商い

### 第四章 肥前に戻る

草川玄道への手紙／大潮元皓と売茶翁／大坂屋敷詰め

### 第五章 在家居士として

居士号「高遊外」／帰京／湯屋谷の永谷宗円／双ヶ丘時代／相国寺林光院での十年間／大典頭常／宇野明霞／売茶翁の茶道具／彭城百川／『自贊三首』／糺の森を逍遙して／売茶翁の侍者たち／唯一の著作／臨川寺／新長谷寺／東岩倉／高芙蓉

### 第六章 最後の十年

聖護院村で交流した友人たち／池大雅／伊藤若冲／翁を案じる女性たち

### 第七章 最晩年

無住と大用／観性尼／安田是誰／古道浄寛／老齡を超越した境地／最期までの数か月／『売茶翁偈語』

### エピソード 地方の有力な支持者たち

新たに知られた交流／松波治部之進と津田治部之進／石川永庵と伊藤若冲

付録 廬同の『茶歌』  
参考文献／売茶翁年譜・京都地図／あとがき／索引(人名・地名)

## 売茶翁の生涯

ノーマン・ワデル

樋口章信 訳

The Life of Baisō



「ただにて飲むも勝手なり」

自在に京の景勝地で茶店を開いて高茶を売れ、その深い精神性で、奈良だけでなく宇野明霞や池大雅ら二一代一流文化人を魅了し、18世紀日本における風狂の肖像、茶年鑑、類に名づかれた「茶神」の人生と思慕が、その曼筆や書簡からひもとかれる。

思文閣出版

本書は、禅僧で煎茶の祖とあおがれる売茶翁(1675～1763)の生涯をまとめた初の伝記(英語版)を年代順に整理し、書きあらためた日本語訳版。京の東山、東福寺や三十三間堂、聖護院などの景勝地に自在に茶店をもうけ、茶代を飲む者にゆだね茶禅一味の宗風を開き、最後はみずから茶道具を焼却したという売茶翁の生きざまや思想は、伊藤若冲や池大雅ら当代文化人を魅了し、時を超え人びとの魂をゆさぶってやまない。


思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-533-6860 fax.075-531-0009  
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票

発行：思文閣出版

(京都 取引コード 3402)

冊数	冊	売茶翁の生涯	本体3,500円(税別)	ISBN978-4-7842-1845-5
お名前			tel	
			e-mail	
ご住所	〒			
送本方法	代引(書籍代+消費税+送料400円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担) ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎			

本書HPのQRコード

# 茶と室内デザイン

小泉和子編

日本にもたらされた喫茶文化は、室町時代の書院造に収斂され、やがて大名居館に発展すると、一方で侘び茶による草庵風茶室が生まれる。

草庵風茶室は書院造に影響し、数寄屋風書院造になり、和風住宅が設立する。その後、江戸時代の煎茶の流行によりさらに特徴的なデザインが加わり、新しい和風住宅の室内意匠がつけられた。

このように日本的とされる日本住宅の室内デザインはほとんどが茶によって育まれた。

茶が日本住宅の室内意匠にあげた影響について、それぞれの専門の立場からの論考を収録し、豊富なカラー図版とともに、茶道と室内デザインの関係性を考える一書。



▶B5判・224頁／本体3,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1808-0

# 講座 日本茶の湯全史 [全3巻]

茶の湯文化学会編

茶の湯文化学会創立20周年記念出版。「中世」「近世」「近代」の3巻にわけて、時代を輪切りにしながら見る本編と、茶の湯の重要な要素を通史として見渡す特論から成る。各巻には時代別の概説と研究の手引き、参考文献を掲げ、研究課題を提示する。最新の研究成果をふまえた茶の湯を通覧する、まったく新しい概説書。



中世▶46判・328頁／本体2,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1696-3

近世▶46判・370頁／本体2,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1697-0

近代▶46判・336頁／本体2,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1698-7

## 元伯宗旦の研究

中村静子著

「利休の孫」として知られる元伯宗旦——その生涯は病気がちで不明な部分が多く、残された史料から全体的な姿を解明することは難しい。徳川幕府体制が確立し、大名茶全盛を迎えた時代に、誰に仕えることなく自身の茶の湯を追求し続けた宗旦の姿を、多数の史料を丁寧に読み解くことで複眼的に究明する。

▶A5判・430頁／本体7,800円(税別)

ISBN978-4-7842-1760-1

## 武野紹鷗 わびの創造

戸田勝久先生喜寿記念論集刊行会編

武野紹鷗を基軸として、斯界の論者24人が原稿を持ち寄った論集。

【執筆者】熊倉功夫／中村修也／山田哲也／宇野千代子／筒井絃一／谷端昭夫／原田茂弘／鍵谷眞由実／田中秀隆／泉田宗健／石川忠久／福良弘一郎／石塚修／矢野夏子／小倉光夫／伊東明弘／長野埜志／池田瓢阿／佐藤留実／吉岡明美／名児耶明／竹内順一／矢野環 他

▶A5判・614頁／本体12,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1471-6

## 藤村庸軒年譜考 [全2巻]

白崎顕成著

藤村庸軒(1613-1699)は儒者・儒学者であり、漢詩・和歌・作庭・花道・茶具の製作に才能を発揮し、多くの文人墨客との関わりを詩集に書き残している。本書は、庸軒の生涯の動向を、文献学的方法にもとづき歳ごとに明かした異色の年譜考。茶道を軸とした近世文化史の魅力を余すところなく伝える一書。

▶A5判・総1,848頁／本体35,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1456-3

## 茶譜 [全2冊]

谷尻・矢ヶ崎善太郎校訂

茶湯古典叢書5

茶譜(全18冊)は、利休・織部・遠州・宗和・宗旦のそれぞれの茶匠とその時代の茶の湯を、確かな情報に基づいて茶の湯の分野ごとに再編集したものである。西尾市岩瀬文庫蔵本を底本とし、現存する諸本と校合して全編活字化。挿図についても別冊の写真版で全て収録。

▶A5判・本文篇756頁、図版篇168頁／本体20,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1528-7

## 茶の湯 恩籟抄

戸田勝久著

裏千家今日庵歴代一人ひとりについての論考「裏千家 今日庵歴代」(13篇)、茶の湯ゆかりの人物をめぐって茶の湯の精髓が語られる「茶の湯掃苔抄」(12篇)、時空を自在に行き来する「江戸東京茶の湯散歩」(深川編8篇・日本橋編16篇)の3部構成。

▶A5判・652頁／本体5,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1751-9

## 茶の湯と音楽

岡本文音著

室町時代後期から江戸時代初期の千利休による大成という、茶の湯が発展・拡大へと向かう時期の文献をひもときつつ、「音楽」の世界をとおしてみえる茶の湯の美意識を、大きく能楽(第1章)、「峯すり」(第2章)、茶の湯の釜の煮え音「五音ノ湯アヒ」(第3章)、茶の湯空間における音(第4章)という4つのトピックから明らかにする。

▶A5判・376頁／本体7,800円(税別)

ISBN978-4-7842-1606-2

## ※黄檗文化人名辞典

大槻幹郎・加藤正俊・林雪光編著

わが国の近世文化にカルチャーショックを与えた黄檗文化の総合辞典。黄檗僧はもとより檀越・外護者・学者・画家などの黄檗文化形成に寄与した人物伝(900人)のほか、黄檗法系譜と総索引を収録。総索引は僧名(道号)・法諱・法諱(諱字)・別号・檀越帰依者の五索引を収めた。

▶菊判・720頁／本体15,000円(税別)

ISBN4-7842-0538-1

## ※近世禅林墨蹟 黄檗・曹洞編

林雪光・鏡島元隆・加藤正俊編

日本の禅宗七百年の歴史の中でも、本来の意味で日本文化として栄えたのは近世である。本集は、原則として未発表の作品を中心に、近世および近代初頭の黄檗80・曹洞86・臨濟292の合計458人の禅僧の墨蹟を収録、釈文と禅僧の略伝を付した。墨蹟を通じ、各禅宗の宗風・歴史を知り得る好書。図版150頁・解説50頁。

▶A3判・200頁／本体35,000円(税別)

ISBN4-7842-0562-4

## 近世の王権と仏教

大桑斉著

近世という時代は国家も社会も思想も、宗教世界中世を克服した世俗世界であるとされる通説に真っ向から異を唱え、幕藩体制そのものが神聖性を帯びていたことを明らかにする。救済信仰の真宗に着目しつつ、近世国家の宗教性を論証し、仏教的世界としての近世を論じた論考。

▶A5判・352頁／本体6,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1811-0

## ※禅宗文化史の研究

桜井景雄著

南禅寺および禅宗史に関する論考をまとめる。寺史篇では永保寺・円光寺史を、制度篇では禅宗主流の成立とその性格、官寺制五山について等7篇、人物篇では祖円、周佐、古溪、崇伝、素湛らを、文化篇では茶道の源流、梅屋宗香と乗福寺本『鳴庵遺稿』についてなど5篇を論じる。

▶A5判・410頁／本体8,500円(税別)

ISBN4-7842-0452-0

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。